

## カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

年間第19主日 19<sup>th</sup> Sunday in Ordinary Time (C)

信仰によって、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクを献げました(ヘブライ 11・17)

By faith Abraham, when put to the test, offered up Isaac(Heb 11:17)



134-0083 東京都江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun.10:00am (日本語) &amp; 4:00pm (English)



## 今日の行事予定：平和を祈る集い（聖体礼拝）

マリア像とアウグスチヌス像の祝別式

慰めのマリア像 8月15日(木) 聖母被昇天祭

アウグスチノ像 8月25日(日) 聖アウグスチノ祭

創立50周年記念事業第10期(1月～6月)献金報告

2018年第10期報告(2019年6月末現在)

申込者数：90名(目標：200名)

献金合計：1,996,000円(目標：3,000,000円)1期

からの合計は27,896,446円(目標30,000,000円)

です。献金はしばらくの間受付けていますので、ご協力をお願い致します。

聖書朗読会

聖書朗読会は原則毎月第4日曜日のミサ後、

小聖堂で行っています。次回は8月25日です。

(宣教部:シスター植木)

50周年ロザリオの祈りの報告(2018年分)

7月は6名 252環です。累計で68名 1,805環で

す。2013年からの累計では14,242環になりました。

(50周年委員会)

これからの予定

8月15日(木) 聖母被昇天祭 9:30～

8月25日(日) アウグスチノ祭

9月22日(日) 創立50周年記念ミサ

平和祈願ミサMass for Peace at Ichikawa Church

平和旬間にあたり京葉宣教協力体で平和祈願ミサを行います。ご参加下さい。

場所：カトリック市川教会

日時：8月12日(月) 16:00～17:00

Kasai Church 50<sup>th</sup> Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals

27,896,446 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Selemnity of Mary's Assumption

Everyone is invited to join the Mass for the Feast of the Assumption at 10 AM.on August 15.

## 共同祈願の祈り

主キリスト、あなたは  
私たちの救い主。

今週の掃除は8月17日(土)  
清新町グループです。皆さまご参加ください。  
This Week's Church Cleaning Duty August 17<sup>th</sup> Saturday  
Seishin-Cho Group

## 創立 50 周年記念ミサの日どり

タルチシオ菊地 功大司教様をお迎えしての記念ミサが、  
**2019年9月22日(日)に決まりました。**  
皆様に心をひとつにして準備を進めてまいりましょう。

### 『年間第19主日』C年

今日の福音 ルカによる福音 (12 : 32 - 48、又は 12 : 35 - 40)

[そのとき、イエスは弟子たちに言われた。]

《「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。

自分の持ち物を売り払って施しなさい。擦り切れることのない財布を作り、尽きることのない富を天に積みなさい。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。あなたがたの富のあるところに、あなたがたの心もあるのだ。』

「腰に帯を締め、ともし火をともしいなさい。主人が婚宴から帰って来て戸をたたくとき、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。主人が帰って来たとき、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。はっきり言うておくが、主人は帯を締めて、この僕たちを食事の席に着かせ、そばに来て給仕してくれる。主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。このことをわきまえていなさい。家の主人は、泥棒がいつやって来るかを知っていたら、自分の家に押し入らせはしないだろう。あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」

《そこでペトロが、「主よ、このたとえはわたしたちのために話しておられるのですか。それとも、みんなのためですか」と言うと、主は言われた。「主人が召し使いたちの上に立てて、時間どおりに食べ物を分配させることにした忠実で賢い管理人は、いったいだれであろうか。主人が帰って来たとき、言われたとおりにしているのを見られる僕は幸いである。

確かに言うておくが、主人は彼に全財産を管理させるにちがいない。しかし、もしその僕が、主人の帰りは遅れると思ひ、下男や女中を殴ったり、食べたり飲んだり、酔うようなことになるならば、その僕の主人は予想しない日、思いがけない時に帰って来て、彼を厳しく罰し、不忠実な者たちと同じ目に遭わせる。主人の思いを知らながら何も準備せず、あるいは主人の思いどおりにしなかった僕は、ひどく鞭打たれる。しかし、知らずにいて鞭打たれるようなことをした者は、打たれても少しで済む。すべて多く与えられた者は、多く求められ、多く任された者は、更に多く要求される。』

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to Luke (12 : 32-48 or 12 : 35-40)

*Prepared for the Lord's coming*

Jesus said to his disciples:

“There is no need to be afraid, little flock, for it has pleased your Father to give you the kingdom.

“Sell your possessions and give alms. Get yourselves purses that do not wear out, treasure that will not fail you, in heaven where no thief can reach it and no moth destroy it. For where your treasure is, there will your heart be also.

“See that you are dressed for action and have your lamps lit. Be like men waiting for their master to return from the wedding feast, ready to open the door as soon as he comes and knocks. Happy those servants whom the master finds awake when he comes. I tell you solemnly, he will put on an apron, sit them

down at table and wait on them. It may be in the second watch he comes, or in the third, but happy those servants if he finds them ready. You may be quite sure of this, that if the householder had known at what hour the burglar would come, he would not have let anyone break through the wall of his house. You too must stand ready, because the Son of Man is coming at an hour you do not expect.”

Peter said, “Lord, do you mean this parable for us, or for everyone?” The Lord replied, “What sort of steward, then, is faithful and wise enough for the master to place him over his household to give them their allowance of food at the proper time? Happy that servant if his master’s arrival finds him faithful. I tell you truly, he will place him over everything he owns. But as for the servant who says to himself, ‘My master is taking his time coming,’ and sets about beating the menservants and the maids, and eating and drinking and getting drunk, his that master will come on a day he does not expect and at an hour he does not know. The master will cut him off and send him to the same fate as the unfaithful.

“The servant who knew what his master wants, but has not even started to carry out those wishes, will receive very many strokes of the lash. The one who did not know, but deserves to be beaten for what he has done, will receive fewer strokes. When a man has had a great deal given him, a great deal will be demanded of him; when a man has had a great deal given him on trust, even more will be expected of him.”

This is the Gospel of the Lord

### 【 平和を求める祈り 2019】

神よ、わたしを平和のために働く者としてください。

憎しみのあるところに愛を、

争いのあるところにゆるしを、

分裂のあるところに一致を、

疑いのあるところに信仰を、

誤っているところに真理を、

絶望のあるところに希望を、

闇に光を、悲しみのあるところに喜びをもたらせ者としてください。

慰められるよりは慰めることを、

理解されるよりは理解することを、

愛されるよりは愛することを求めますように。

わたしたちは与えるから受け、

ゆるすからゆるされ、

すべてをささげて永遠のいのちをいただくのです。

出典「カトリック儀式書 結婚式」(中央協議会)